

災害医療教育研究センター



センターHP



1. スタッフ

センター長 (教授)	
	かきおか しゅんじ 笠岡 俊志
副センター長 (副病院長・教授)	
	田中 靖人
特任助教	1名
看護師	1名
事務職員	3名

2. 特徴

災害医療に関する教育や研究を推進するセンターとして平成30年10月に設置されました。その目的は災害医療に従事する人材を養成するとともに、行政や地域医療との連携、市民への防災教育等を通して災害医療提供体制の発展に貢献することです。センターが担う主な業務は、①高度災害医療人材の養成、②災害医療・医学に関する研究、③地域住民への防災教育、④医療機関の災害医療体制整備の支援、⑤災害発生時の院内対応や被災地へのスタッフ派遣などです。平成30年度から5年計画で文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」に採択された「多職種連携の災害支援を担う高度医療人養成」事業を推進しました。さらに、令和4年度から熊本県の補助を受けた「災害保健医療機能分化・連携促進事業」として二次医療圏における災害時の医療提供体制整備の支援を行っています。

3. 診療体制・診療実績

直接担当する診療部門はありませんが、令和4年4月から当センターのスタッフを救急外来に派遣して救急診療の支援を行っています。救急部のカンファレンスにも参加して救急診療に関する助言や意見交換を行っています。

4. 高度先進的な医療への取組

特記事項はありません。

5. 地域医療への貢献

人材養成プログラムの受講生に対する研修会や訓練の他、受講生以外の医療従事者や市民に対しても、WEBを活用したセミナーや公開講座を開催しました。

本院が有する災害医療の情報やノウハウを地域にフィードバックするなど地域医療や地域防災に貢献しています。さらに、防災に関する情報発信をYouTubeで行っています。

6. 医療人教育の取組

熊本大学病院では文部科学省が公募した平成30年度大学教育再生戦略推進費「課題解決型高度医療人材養成プログラム」における「テーマ②:医療チームによる災害支援領域」に九州大学大学院歯学研究院と連携して応募し、採択されました。本学のプログラムの特徴は「多職種連携の災害支援を担う高度医療人養成」であり、医師会、歯科医師会および行政機関等の協力を得て、超急性期～急性期の支援に加え亜急性期～慢性期で問題となる慢性疾患等を対象とする長期的視野で活動可能な医療チームを構成する多職種の人材(医師、歯科医師、看護師、薬剤師、栄養士等の医療職や行政担当者等)を養成することです。令和2年度に実施された文部科学省の中間評価では最高位のS評価を受けました。改善を指摘された事項に対応しつつ、さらなる人材養成を継続しています。

令和4年度も募集定員25名を上回る42名の応募があり、令和元年度から開始したプログラムの受講生は計217名となりました。そのうち、令和5年3月までに計66名が修了認定を受けています。

熊本県では平成28年熊本地震や令和2年7月豪雨など甚大な被害に見舞われた自然災害が発生しています。被災県として災害対応の経験を活かしつつ、国や県などの行政機関に加えて、本プログラムが採択された新潟大学や東北大学とも連携して災害医療に関わる高度医療人材の養成を行っています。

熊本県の補助事業として、阿蘇、菊池、八代、球磨の4つの医療圏を対象に地域医療連携強化事業を推進するとともに、災害医療ロジスティック要員養成講座には29名の関係者が受講されました。

さらに、大学院医学教育部、医学部医学科や保健学科における災害医療の講義を担当するとともに、医学科の臨床実習においてトリアージ実習を担当し実践的な災害医療教育を提供しています。

令和4年度文部科学省「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」の一環として災害現場における医療活動を疑似体験できるVR動画を作製して医学科学生の臨床実習で活用しています。

令和4年4月から大学院医学教育部に「災害・救命医療学講座」が新設され、社会人大学院生1名を受け入れています。

7. 研究活動

熊本地震の経験を風化させないため、科研費や共同研究費を獲得して、災害医学に関する研究を推進

し、国内の学術集会(救急医学会や災害医学会など)で発表するとともに論文として公表しています。研究テーマは以下のとおりです。

- 1) 大規模災害の避難者における健康被害の要因解明と新たな提言
- 2) 災害時の洗面所環境・機能確保のための事業継続計画とその実践に関する研究
- 3) 医療施設の医療救護活動における水害対策の高度化に関する研究

さらに、令和3年から2年間の予定で、厚生労働科学研究費補助金を獲得し、以下のテーマで研究を進めています。

- 1) 災害時における医療機関の役割分担及び連携の検討に資する研究

8. 令和4年度に開催したセミナーや研修会

1) 市民公開講座

熊本大学病院災害医療教育研究センター主催 令和4年度第2回市民公開講座

特別講演

いのちを守る 気象情報

テーマ: 気象情報を利用して被害を防止しよう!

令和5年 3月25日(土)
14:00~16:00(13:30開場)
ホテル熊本テルサ
テルサホール

講師: 齊田季実治様
気象予報士/気象キャスター
1973年生まれ。北海道大学で海洋気象学を専攻し、在学中に気象予報士資格を取得。現在、NHKでキャスターとして『ニュースワッチ』などに出演。連続テレビ小説『おかしな家族』気象解説を担当。

参加方法
●お申し込みは、お申し込みのQRコードまたはお申し込みのURLからお申し込みください。
申込期間 11月1日(水)~11日(水)
URL: <https://kumamoto-u.ac.jp/kyouiku/kyouiku/kyouiku/kyouiku/kyouiku/kyouiku/>

- 開会あいさつ
災害医療教育研究センター 教授・センター長 笠岡 俊志
- 講演
議題: 風水害による人的被害の実態
講師: 災害医療教育研究センター 特任助教 内藤 久貴
- 特別講演
議題: いのちを守る気象情報
講師: 気象予報士 齊田 季実治様
- パネルディスカッション
齊田季実治様、笠岡俊志教授、内藤久貴特任助教

2) センター長と語る会

熊本大学病院
災害医療教育研究センター zoom
災害医療について
センター長と語る会(夏)
※ZOOMを用いた5名程度の情報交換会です。

開催日時
日程①: 令和4年7月27日(水) 19:00~20:30
日程②: 令和4年8月31日(水)
日程③: 令和4年9月28日(水)

申込締切: 6月30日(木)
※開催時に出席がある場合には、遅延にご案内する場合がございます。

受講対象
内容につきましては、これまで開催したものと同じです。そのため、初参加の方を受講対象とさせていただきます。

単位認定
選択科目: 1.5単位

※参加申込については、添付の用紙に記載頂き、メールにてお申込みください。

(プログラム)

- 1) 開会挨拶
- 2) 参加者の自己紹介
- 3) 講話『私の災害医療経験: 山口での水害対応から』
災害医療教育研究センター長 笠岡俊志
- 4) ディスカッション
- 5) 閉会

3) 災害医療従事者研修

令和4年度 第3回 災害医療従事者研修
災害時保健医療活動
~避難所アセスメント~
※履修プログラム選択科目: 10単位

日時 令和5年2月11・12日

定員 20名程度(集合型研修)

開催場所
益城町総合体育館、
旧長陽西部小学校、他

(プログラム)
【1日目】2月11日10:00~18:00
・講義: 災害医療概論
・講義: 避難所における健康被害
・講義: 避難所アセスメント
・講義: 避難所での診療~災害時診療記録・J-SPEED~
・実践研修: 避難所アセスメント
・実践研修: 避難所での診療
・実践研修: コロナ禍での避難所運営
【2日目】2月12日8:30~16:00